

能代河川国道事務所ニュース



〒016-0121 能代市鍼淵字一本柳97-1
http://www.thr.mlit.go.jp/noshiro/
TEL 0185-70-1001(代) FAX 0185-70-1118
E-mail thr-noshiro01@mlit.go.jp

発行者：国土交通省 東北地方整備局
能代河川国道事務所
【支所・出張所】
森吉山ダム／二ツ井(河)／鷹巣(河)／
大館国道／能代国道維持

★定期的に事務所管内のニュースをお伝えします

【今号の話題】

- 一般国道7号「除雪機械出動式」
- 河川への油流出事故に備えた、総合的な訓練
- 第142回秋田県種苗交換会で「パネル展開催」・「自動運転車両展示」
- 台風19号の被災に係る災害対策支援活動報告会開催
- 東北「道の駅」連絡会 駅長会議

一般国道7号「除雪機械出動式」を行いました。

本格的な降雪シーズンの到来を間近にひかえた10月30日（水）大館防災ステーションで、11月1日（金）には能代除雪ステーションで、冬期間の安全・安心な交通の確保に向け「除雪機械出動式」が行われました。

はじめに『安全祈願祭』が執り行われ、除雪作業の無事故・無災害を祈願しました。

引き続き行われた『除雪機械出動式』では、長年にわたり除雪作業に貢献された運転員の方に対し、『除雪功労者表彰』が行われました。



また、能代除雪ステーションで行われた出動式では、能代東中学校の生徒2名から激励のメッセージを頂き、現場代理人による安全宣言の後、一斉に除雪機械が出動しました。



河川への油流出事故に備え、総合的な対策訓練を実施しました。

米代川水系水質汚濁対策連絡協議会では11月11日と12日の両日、水質事故に対する総合的な訓練として、通報演習、水質事故対応講習会、及びオイルフェンス設置訓練を行いました。

寒くなる季節を迎え、事業所や家庭では油類の取扱いの機会が増え、河川や水路に流出する事故も増える傾向にあります。この訓練は、これら油類の流出事故に備えて関係機関の連絡体制の確認や、事故の際の拡散防止技術の習得、及び向上を目的として、毎年この時期に実施しているものです。

11月11日の通報演習では、協議会構成29機関で水質事故を想定した情報の伝達を行い、受信確認が適切に実施されました。

11月12日は、旧種梅小学校体育館において水質事故対応の講習会を実施し、その後、能代市二ツ井町樋ノ口橋上流河川敷で油流出事故が発生したとの想定で、オイルフェンスの組立・搬送、河川横断設置や用水路からの流出防止といった本番さながらの訓練を、約70名規模で行いました。

協議会では、これらの訓練や広報等による地域への注意喚起により、水質事故の未然防止・被害軽減に努めていきます。



第142回秋田県種苗交換会で「パネル展」・「自動運転車両展示」を行いました。

令和元年10月30日(水)～11月5日(火)までの7日間、大館市タクミアリーナを主会場に、「第142回 秋田県種苗交換会」が開催され、そのメインアリーナ内で能代河川国道事務所では「パネル展」を開催し、河川や道路、ダム の事業について分かりやすく説明をするとともに、建設機械のクラフトペーパーや建設機械カードの配布を行いました。

また、ニプロハチ公ドーム内で行った「自動運転車両展示」では、たくさんの来場された方々が自動運転車両に興味深そうにご覧になっていました。



パネル展

自動運転車両展示



クラフトペーパー



各地で台風19号による甚大な被害があったことも影響し、「米代川のハザードマップについて教えてください。」という質問も寄せられ、展示しているパネルを使ってご説明させて頂く場面がありました。

来場された方々からは多くのご質問等を頂き、また、「建設機械のクラフトペーパーやカードは良いお土産になるので、種類がもっとあれば欲しい。」といった、嬉しいご要望も頂きました。

台風19号の被災地に派遣した全てのリエゾンおよびTEC-FORCE(テックフォース)が帰還、災害対策支援本部支部体制の解除、活動報告会が開催されました。

能代河川国道事務所では、令和元年10月12日(土)に発生した台風19号により、甚大な被害が発生した福島県須賀川市に派遣した「リエゾン(災害対策現地情報連絡員)」および福島県相馬市・宮城県丸森町に派遣した「TEC-FORCE(緊急災害対策派遣隊)」が、11月6日(水)に帰還しました。

これにより、全ての隊員が帰還したことをうけ、令和元年11月7日(木)12時00分 災害対策支援支部を解除するとともに、これまで派遣した隊員による活動報告会を11月13日(水)に開催しました。

◆今回帰還したTEC-FORCEおよびリエゾンの情報

- 活動地区：①福島県須賀川市(リエゾン)
②福島県相馬市(TEC-FORCE 河川班)
③宮城県丸森町(TEC-FORCE 情報通信班)
- 派遣構成：①福島県須賀川市 事務所職員1名(技術系1名)
②福島県相馬市 事務所職員4名(技術系3名、事務系1名)
③宮城県丸森町 事務所職員2名(技術系1名、事務系1名)
- 派遣期間：①福島県須賀川市 令和元年11月1日(金)～11月6日(水)
②福島県相馬市 令和元年10月30日(水)～11月6日(水)
③宮城県丸森町 令和元年11月1日(金)～11月5日(火)



◆能代河川国道事務所の体制

令和元年10月13日(日)12時00分 災害対策支援支部 警戒体制
令和元年11月7日(木)12時00分 災害対策支援支部 解除

- ・福島県郡山市 リエゾン : 延べ4名
- ・福島県須賀川市 リエゾン : 延べ5名
- ・福島県白河市 TEC-FORCE(河川班) : 延べ4名
- ・宮城県大崎市 道路啓開チーム : 延べ4名
- ・福島県相馬市 TEC-FORCE(河川班) : 延べ8名
- ・宮城県丸森町 TEC-FORCE(情報通信班) : ・・2名

「計27名」



報告会では、被災地での活動内容について、帰還した隊員から、自身の経験と教訓が今後の能代河川国道事務所全職員の糧となるよう、思いのこもった報告があり、聴講している職員も熱心にメモを取るなどの姿が見られました。

東北「道の駅」連絡会 駅長会議が開かれました。

令和元年11月19日(火)、能代市内のプラザ都において『令和元年度 東北「道の駅」連絡会 駅長会議』が開かれ、東北各地の「道の駅」駅長が多数出席し、様々な情報交換や活発な意見交換が行われました。

「道の駅」連絡会 駅長会議



『開会あいさつ』の中では、開催地を代表してご挨拶された「道の駅ふたつ」駅長から民謡「秋田音頭」も披露され、とても和やかな雰囲気での開会となりました。

◆「道の駅」連絡会とは◆

「道の駅」相互の連携を図り、「道の駅」の質の向上や確保、各地域の地域振興や利用者サービスの向上を目的として、「道の駅」に関する情報交換を行っています。



開会の挨拶に続いて行われた『パネルディスカッション』では、『「道の駅」における特産品開発 コツと知恵』をテーマとし、九州・沖縄「道の駅」連絡会事務局長、栃木県「道の駅もてぎ」支配人、山形県「道の駅」駅長会元事務局長・「道の駅むらやま」業務拡大推進室長をパネリストに迎え、様々な事例紹介や質疑応答などが行われました。

『新駅紹介』では、平成31年3月に新たに登録された2つの「道の駅」と、東日本大震災での被災により休業を余儀なくされていた2つの「道の駅」が再開することとなり、「新駅」と「再開駅」として、次の4つの「道の駅」が紹介されました。

- 新駅：道の駅「おおさき」（宮城県大崎市）
- 再開駅：道の駅「ならは」（福島県檜葉町）
- 新駅：道の駅「かくた」（宮城県角田市）
- 再開駅：道の駅「高田松原」（岩手県陸前高田市）



東北地方整備局からは『最近の「道の駅」の話題』、『管内の「道の駅」インバウンド対応について』等の情報提供があり、引き続き、東北「道の駅」連絡会からは『青森県／岩手県「道の駅」検定』等の話題提供がありました。

東北各地の「道の駅」駅長が一同に介した今回の会議は大変貴重な機会となり、『情報交換会』では秋田県「道の駅」特産品やオリジナル商品の紹介等、様々な情報提供や活発な意見交換が行われました。

『編集後記』

いよいよ本格的な冬の到来を迎え、そしてほんの少し、来年の背中も見えてまいりました。

みなさま寒さや忙しさで体調を崩さぬよう、どうか暖かくして健やかな毎日をお過ごしください。



【次号予定】

- ・冬季雪害対応訓練
- ・水門等水位観測員講習会など。